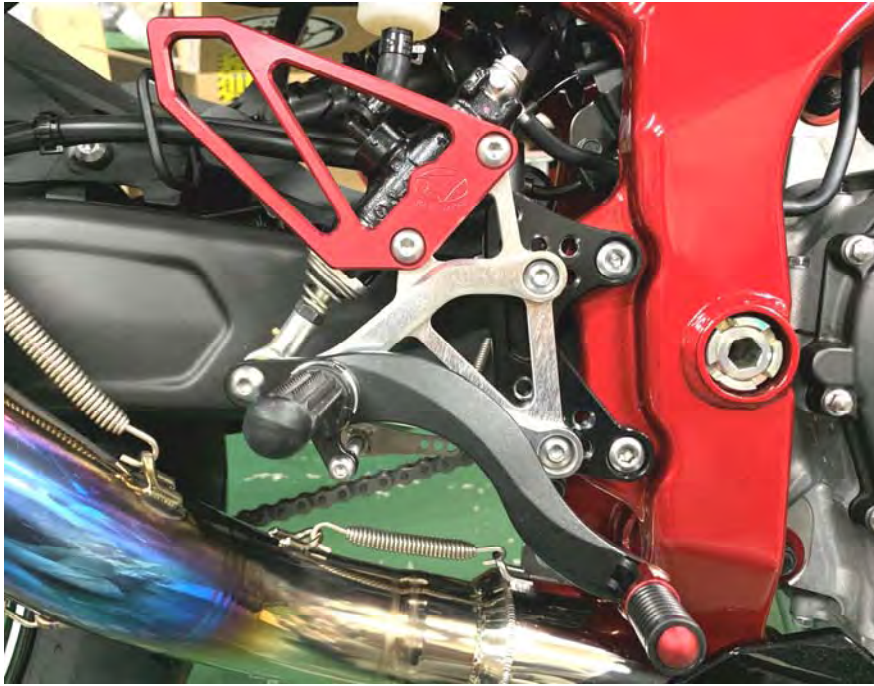


KAWASAKI ZX-25R Hyper Bank < 取付説明書 >



おもな仕様

◆ チェンジ側 ・ ブレーキ側 ステップホルダー	➤ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ チェンジ側 ・ ブレーキ側 ポジションプレート・ヒールプレート	➤ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ チェンジ側ペダル ・ ブレーキ側ペダル	➤ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ 両側ペダルピン (可倒式機構付き)	➤ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ チェンジペダルカム ・ ブレーキペダルカム	➤ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ MFJ レースレギュレーション対応 ステップパー	➤ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ エクステンション用 シフトチェンジロッド付属。	➤ ステンレス (耐蝕、耐候性素材)	削り出し
➤ 両側ペダルピン、可倒システム採用。	➤ 6ポジション可変システム	
➤ 各部ボルト、ナット類 耐食、耐候性メッキ処理	➤ ステップパー 固定式仕様	

《 注意 !! 》

取付作業をはじめる前に
必ずお読みください

《 Attention!! 》

- ◆ 本製品の取付作業は、オートバイメーカー発行のサービスマニュアルによる、確かな知識・技術を持ったバイクショップ 又は、販売店に依頼する事をお奨めします。
- ◆ 本製品の取付作業は、エンジン・マフラー・ラジエターなどが、完全に冷えている状態で行ってください。ヤケド等の怪我の原因となります。
- ◆ 製品に加工を施さないで下さい。重大な事故の原因になります。
- ◆ 御客様の装着されているマフラー製品、その他の部品等によって本製品と干渉し、使用できないポジションがありますので、予め御了承下さい
- ◆ 本製品の取付作業終了後、走行の前に、必ず ブレーキの利き具合・引きずりの有無・ブレーキランプの点灯確認・シフト周りのガタツキ 等を確認してください。
- ◆ 本製品の取付作業終了後、初期の段階で各部のボルト・ナット類が緩み易くなっていますので、2～3日走行後必ず増し締めを行ってください。
- ◆ その後も各部のメンテナンス、及び増し締めを定期的に行なって下さい。

☆ 取付作業に入る前に本商品の部品一式が、きちんと揃っているか別紙パーツリストと照らし合わせて確認してください。

ブレーキ側(R)の取り付け

※ 作業中に、ブレーキ周りの部品が、車体やマフラーに傷をつけたりする事がある為、あらかじめ ウェス、古布 等でカバーして当たらないように工夫してください。

リアブレーキマスターシリンダーを止めている純正 M8 ボルトを緩めて、その後にブレーキ側ノーマルステップホルダー を取付けている M8 純正ボルトを緩めてノーマルステップを車体から取り外します。

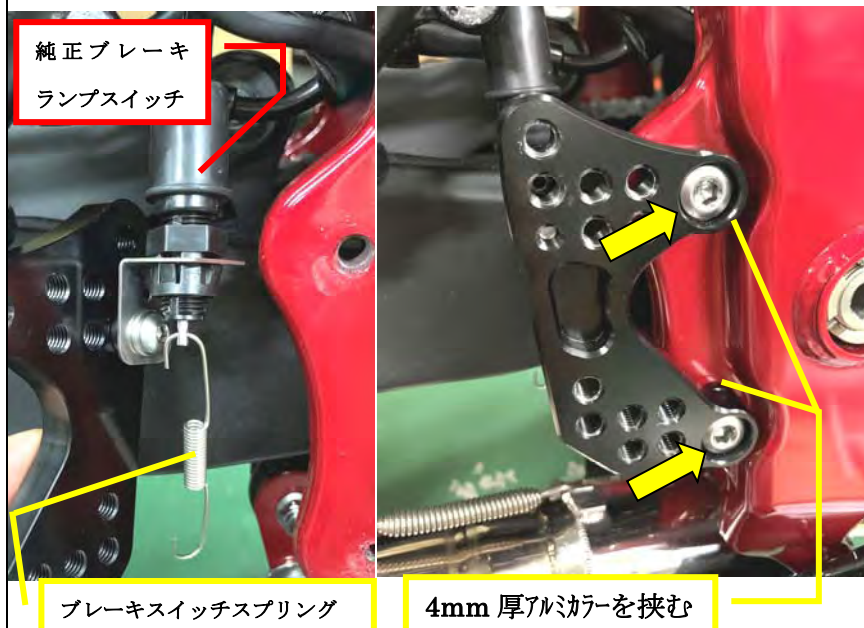
ノーマルステップ を外した後、純正ブレーキランプスイッチのスプリングを、ラジオペンチ等で取り外します。

その後、純正ブレーキランプスイッチアのジャストナットを回してブレーキランプスイッチをスイッチホルダーから外し、スイッチのアジャストナットもスイッチホルダーから外してください。

リアブレーキマスターシリンダー の プッシュロッド部の 純正 M8 アジャストナットを緩めた後、プッシュロッドを 10 mm のスパナで回し、ノーマルステップをマスターシリンダーから完全に取り外します。
(※ 純正 M8 アジャストナットを後で使用します)

下図左の様に、純正ブレーキランプスイッチをステーに取り付け、スイッチスプリングもスイッチの穴に通しておく。

下図右の様に、4mm 厚カラーをフレームとの間に挟み、純正のステッププレートボルトでポジションプレートを取り付ける。



左図の様に、純正マスターシリンダーに

- a) H/B リターンスプリングカラー (カット面を手前)
- b) ペダルリターンスプリング No.10
- c) 純正 M8 アジャストナット

の順でプッシュロッドの M8 ネジ部に取り付け、スプリングの上端と、一番下のナットの下端との距離を 21 mm (※ 左図矢印参照) に調整し、純正アジャストナットで仮止めし、ピロボールも取り付けおきます。

※後で要再調整

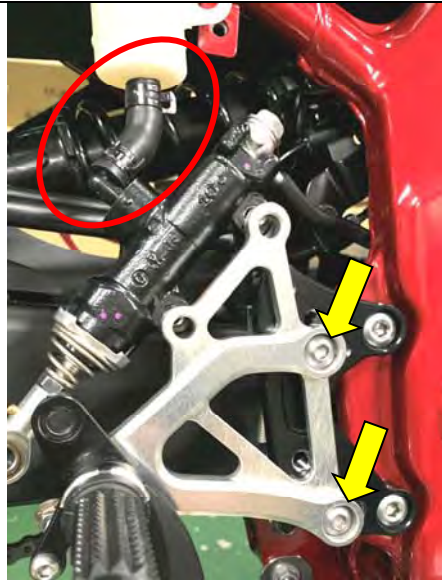


ブレーキペダルのネジ部に丸キャップボルト M6×55 を締め込み、裏から左図のように、M6 ナットで本締めし完全に固定します。

そして、スイッチロッドステーと M6 ナットを左図の様に、仮付けしておきます。

ブレーキフルードが漏れないよう注意して、マスターカップのホースを取外し、中央の曲がり部分を残す様、右図の様にカットする。
※外側の保護チューブは抜く。

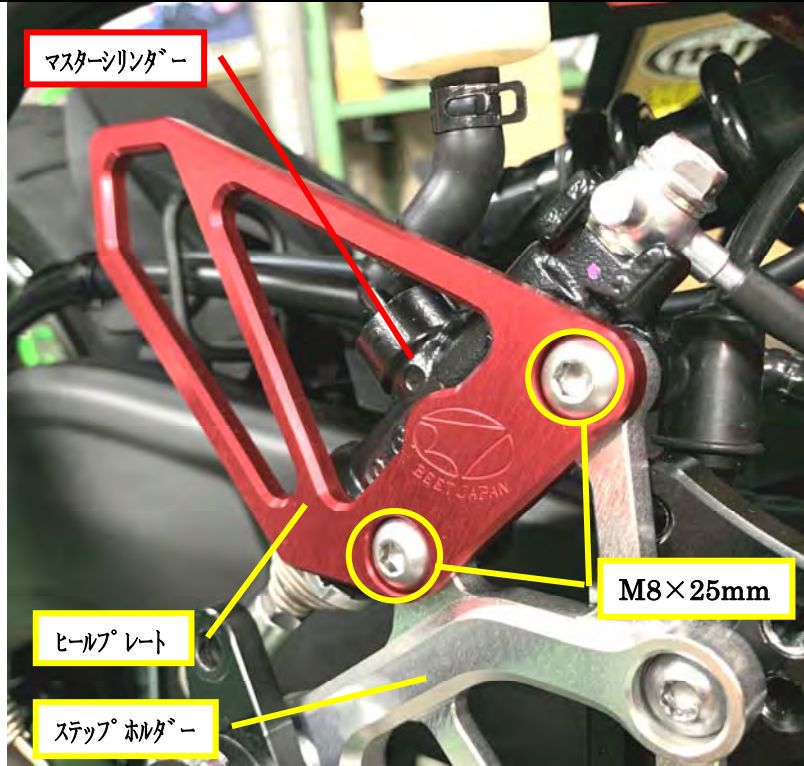
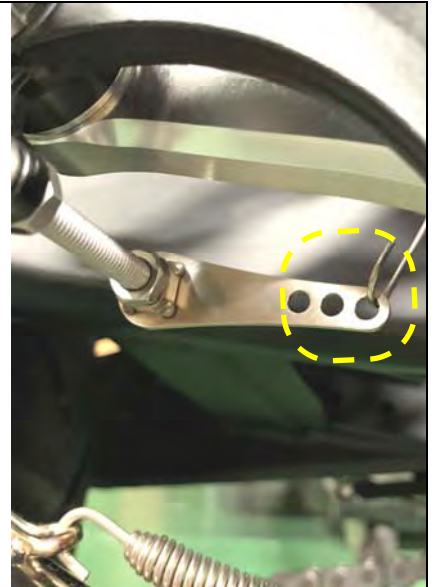




カットしたホースを左図の様に取り付ける。
※ブレーキフルードが漏れないよう注意する。
ブレーキフルードが付着した箇所は水で洗い流して下さい。
塗装が剥がれる原因となります。

ステップホルダーを丸キャップボルト M8×15 で、好みのポジションに取り付ける。
 ※6ページのポジション表を参考にして下さい。

ブレーキスイッチスプリングをステーの先端穴に取り付ける。

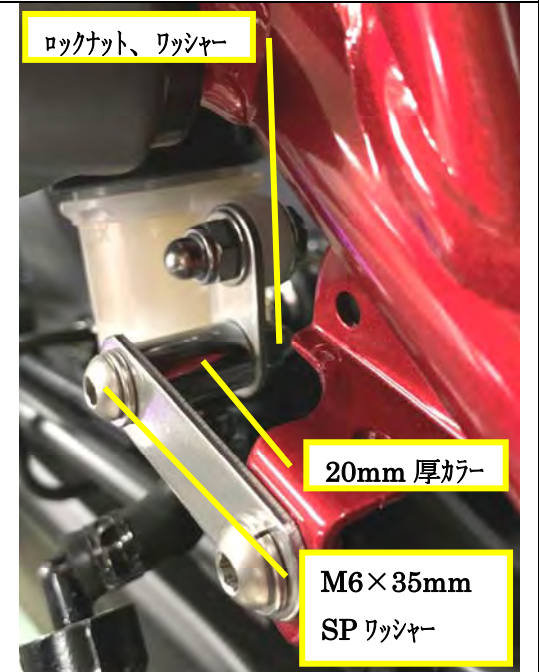
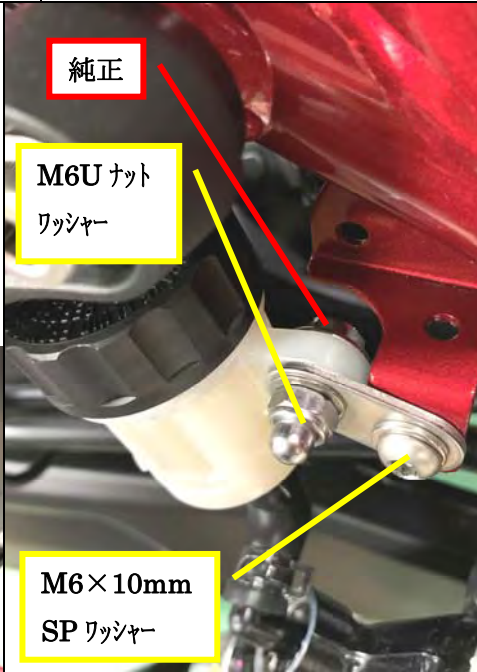
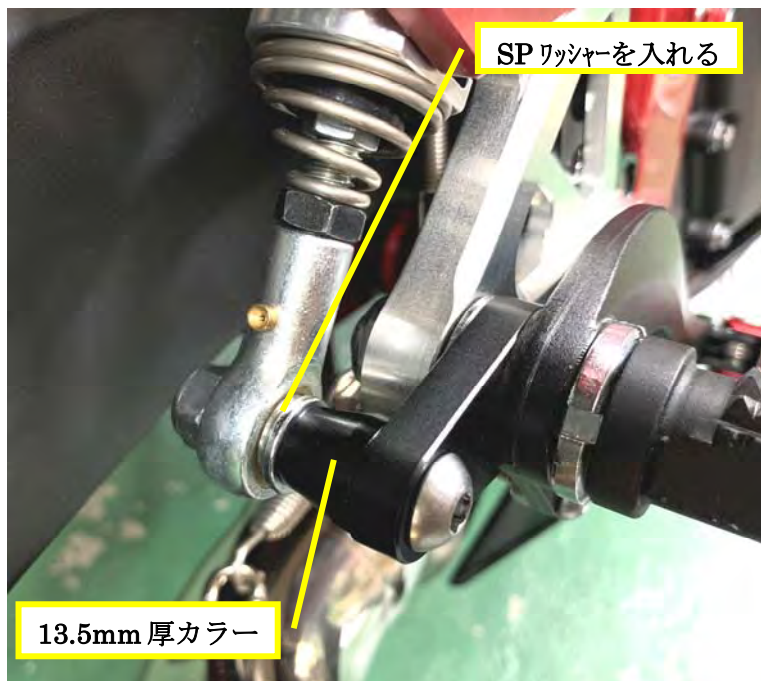


左図の様に、ヒールプレートとマスターシリンダーを丸キャップボルト M8×25mm で、ステップホルダーを挟み込む様に取り付ける。

Pos1 と Pos3 の場合は、右図の様に純正ボルトを使用して、元付いていた状態でマスターカップを取り付ける。



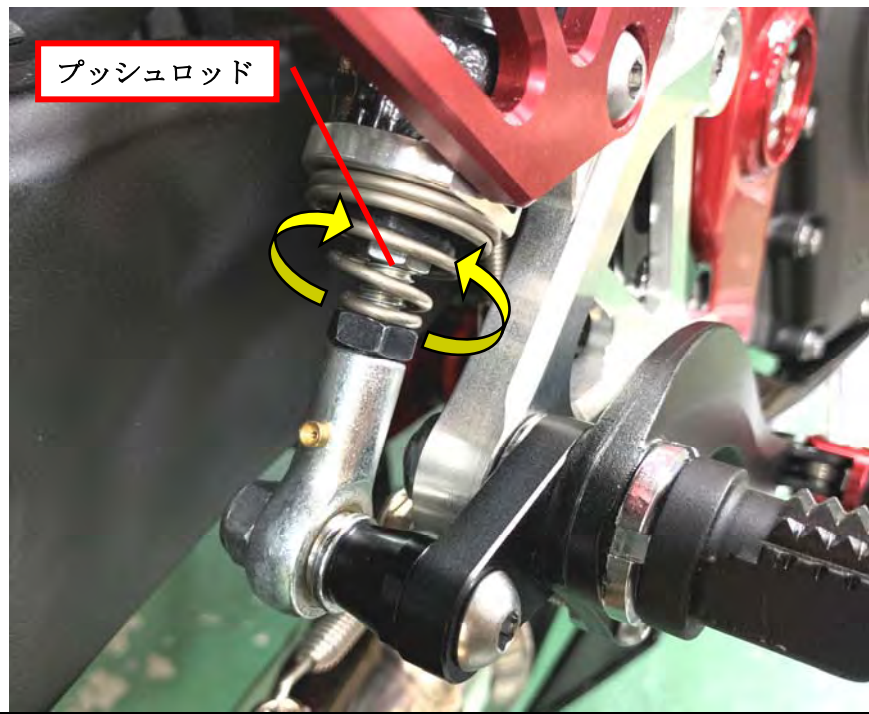
ブレーキペダル穴にジョイントカラーを入れ、丸キャップボルト M8×45 で、13.5mm 厚カラーと SP ワッシャー挟みピロボールに取り付け、マスターシリンダーとブレーキペダルを接合する。



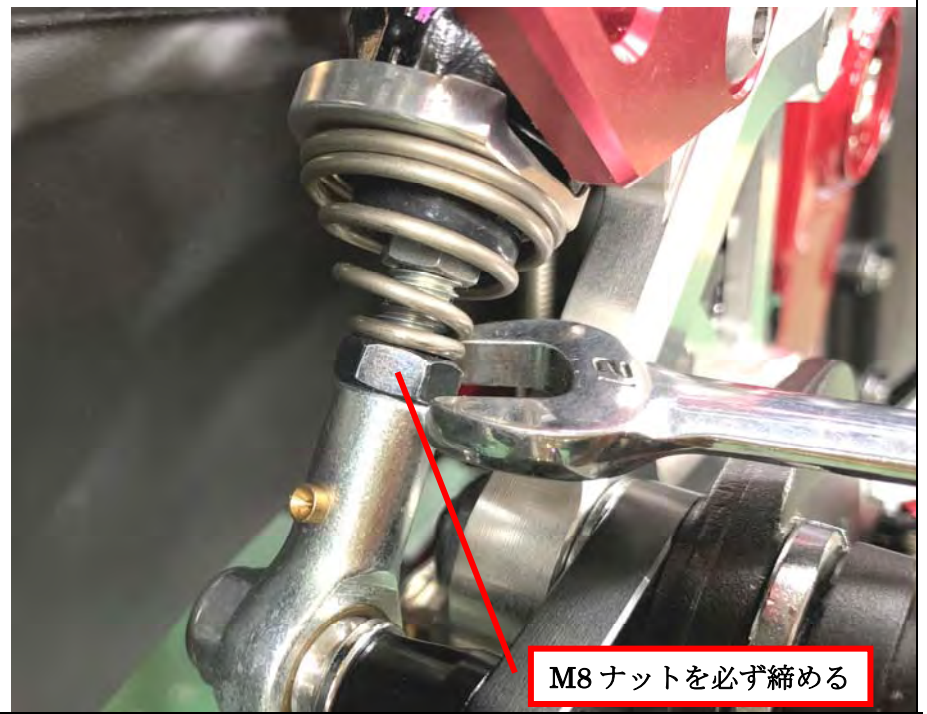
Pos2、Pos4、Pos5 は、左上図の様に、ショートステーを使用し、リザーバータンクをオフセットさせ取り付ける。

Pos6 は右上図の様に、ロングステーを追加し更にリザーバータンクをオフセットさせ取り付ける。

ブレーキペダルの高さが合わない場合は、純正 M8 ナットを緩めた状態で、プッシュロッドを 10 mm のスパナで回転させ調整します。



ブレーキペダルの高さ調整完了後、純正 M8 ナットを締めプッシュロッドが回らない様に固定します。

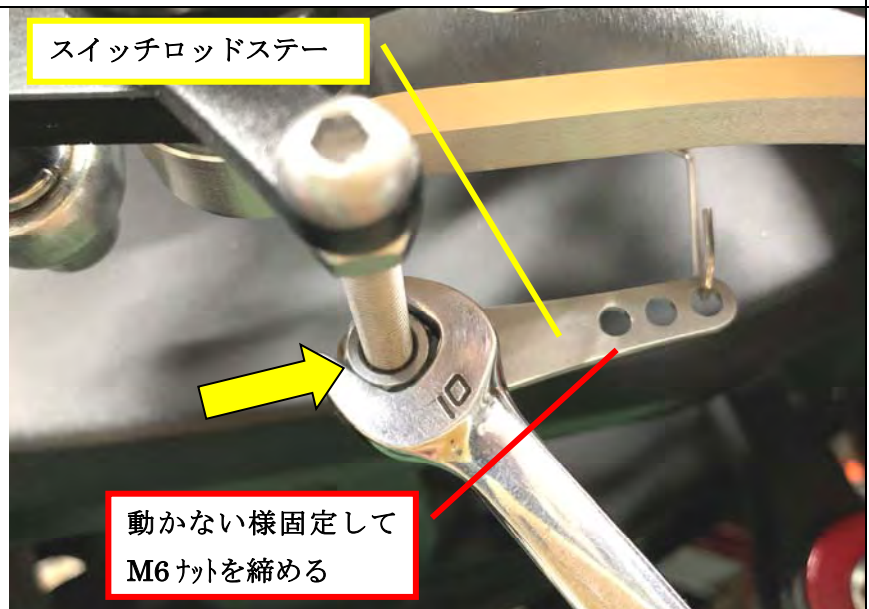


▶ ペダルが 上向き すぎる場合は…
プッシュロッドを少しずつ締めてペダルの先端を下げます

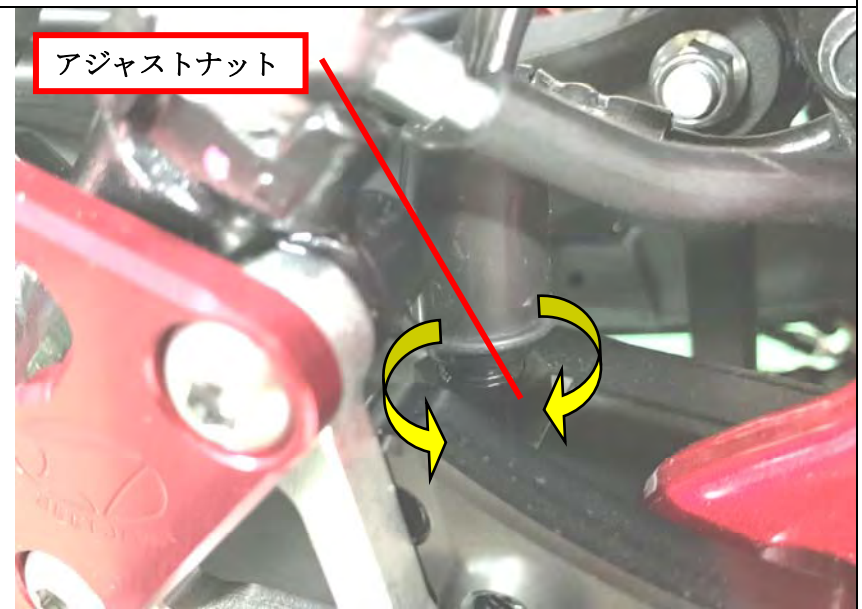
▶ ペダルが 下向き すぎる場合は…
プッシュロッドを少しずつ緩めてペダルの先端を上げます

ブレーキペダルの高さ調整とプッシュロッドの固定が確実に終わってから、

ブレーキペダルを操作した際に、ブレーキランプが点灯する位置で、スイッチロッドステーを M6 ナットで固定する。
※スイッチロッドステーが回らない様に押さえながらナットを締める。



スイッチロッドステーの固定完了後、ブレーキランプ点灯のタイミングの微調整を、ブレーキスイッチのナットを回して行う。



◇ ブレーキ側の取付けの最後に…

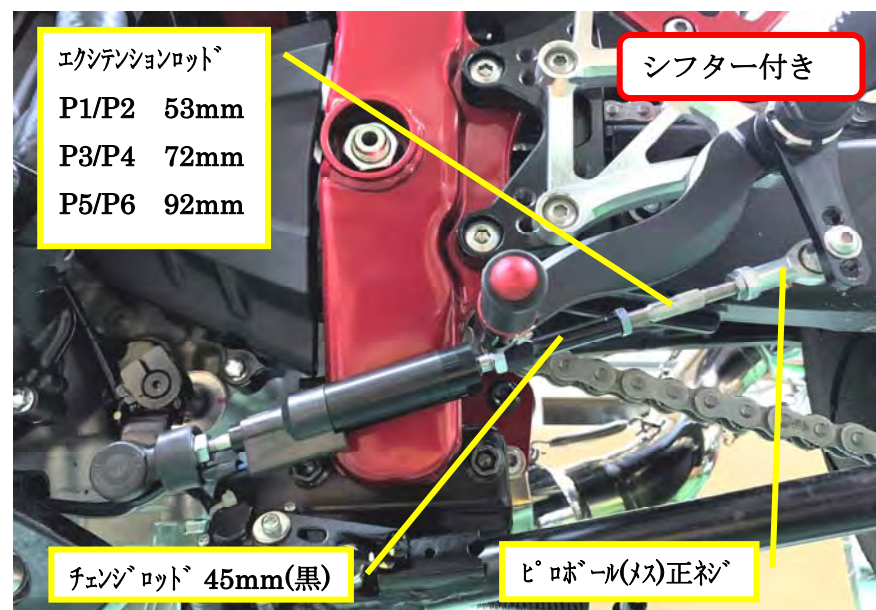
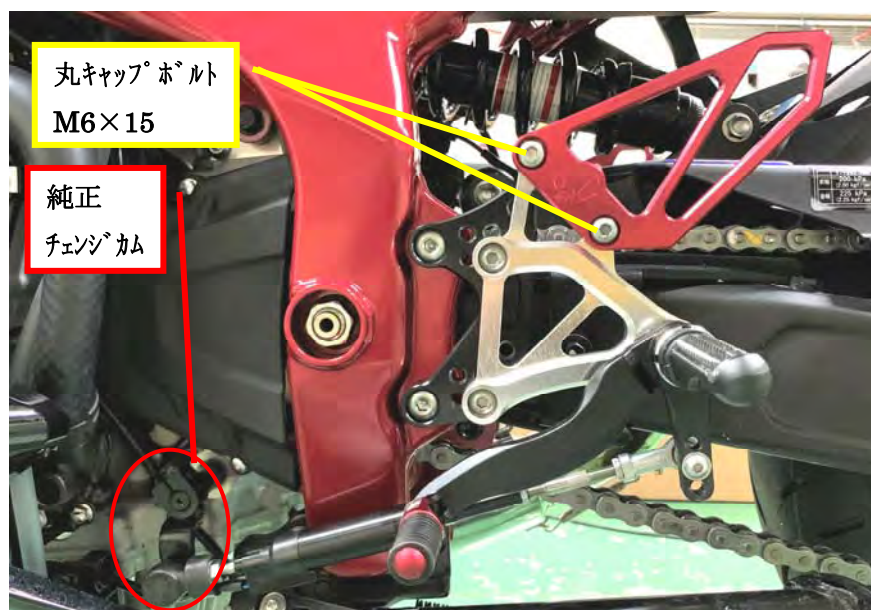
H/B ブレーキ側の取付け確認して各部の増し締めを行って下さい。

LH (チェンジ側) の取り付け

- ▶ 純正シフトロッドのナットを緩め、シフトロッドを回転させ取り外す。
純正チェンジカムとシフタースイッチはそのまま使用します。
- ▶ ノーマルステップを車体に固定している純正 M8 ボルトを外しノーマルステップを車体から外します。

ブレーキ側同様に、ポジションプレート、ステップホルダー、ヒールプレート (丸キャップボルト M6×15) を取り付ける。

シフター付きの場合は、チェンジロッド[※]とエクステンションロッド[※]でシフタースイッチとシフトペダルのピロボールを接続する。
シフター無しの場合は、140mm のエクステンションロッド[※]を使用する。



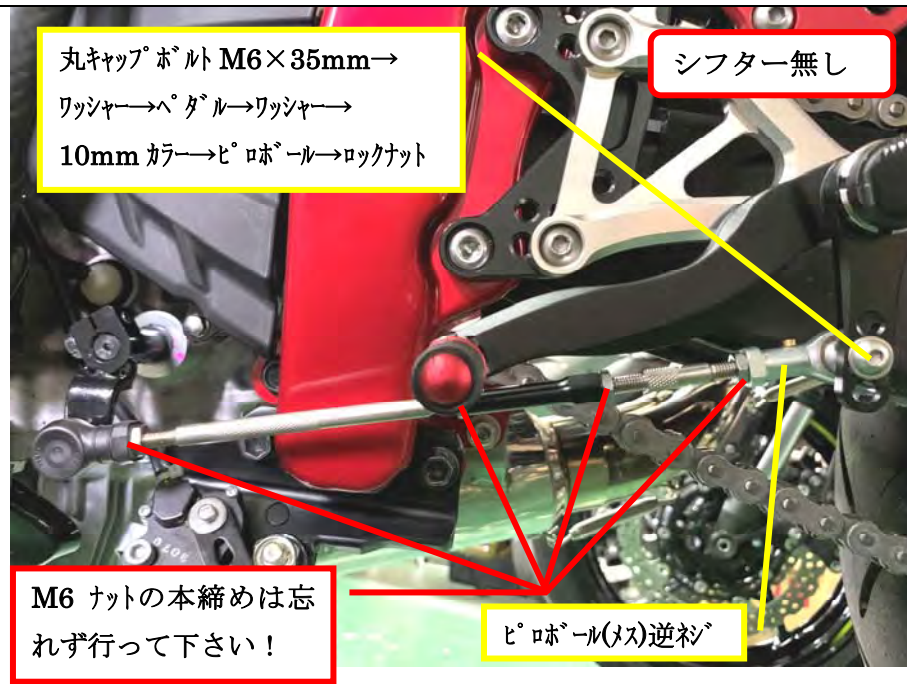
※ 最初の取付け時は、好みのポジションで取付けて下さい。走行時は必ずご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ両側のポジションが同じであることを確認して下さい。

チェンジカムとチェンジペダルをチェンジロッド(黒色)とエクステンションロッドで繋げ、チェンジペダル高さをロッドの長さを変更し好みの高さに調整する。
調整後、必ず4つのM6ナットを本締めする。

- ※ チェンジロッド/エクステンションロッドを取り付ける際は、
- | | |
|--------------------|--------------|
| | シフター付き / 無し |
| ▶ チェンジカムのピロボール | M6 正ネジ |
| ▶ チェンジロッド (黒色) の前側 | M6 正ネジ / 逆ネジ |
| ▶ チェンジロッド (黒色) の後側 | M6 逆ネジ / 正ネジ |
| ▶ エクステンションロッドの前側 | M6 逆ネジ / 正ネジ |
| ▶ エクステンションロッドの後側 | M6 正ネジ / 逆ネジ |
| ▶ チェンジペダルのピロボール | M6 正ネジ / 逆ネジ |

それぞれの部分のネジのかかり量が 6mm 以上になるように注意して調整して下さい。

チェンジロッドの脱落等の原因になります。!



停車状態で、シフトチェンジ操作を2～3度行って、シフトチェンジ操作に不具合が無いか確認して下さい。

◇ チェンジ側の最後に…

H/B チェンジ側の取り付け再確認をして各部の増し締めをして下さい。

ポジションチェンジについて

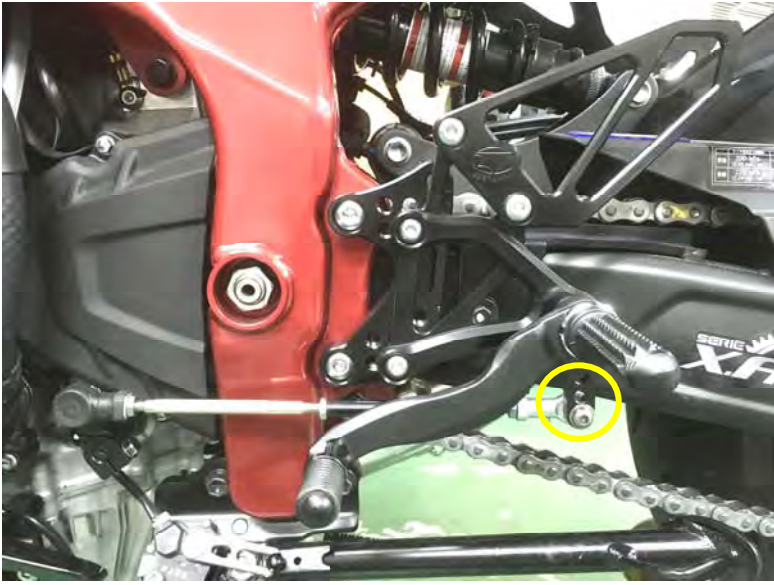
	<i>BACK</i>	<i>UP</i>	
<i>Pos.1</i>	<i>46 mm</i>	<i>52 mm</i>	
<i>Pos.2</i>	<i>46 mm</i>	<i>64 mm</i>	
<i>Pos.3</i>	<i>58 mm</i>	<i>52 mm</i>	
<i>Pos.4</i>	<i>58 mm</i>	<i>64 mm</i>	
<i>Pos.5</i>	<i>70 mm</i>	<i>64 mm</i>	
<i>Pos.6</i>	<i>70 mm</i>	<i>76 mm</i>	

》 注意点 《

- ◇ 取付けるマフラーによって、選択できないポジションが有りますので御了承下さい。
- ◇ ブレーキ・チェンジ両ペダルの垂れ角の範囲は、ある程度、選択が可能ですですが極端な変更は安全な操作の妨げとなりますので、十分注意してください。
- ◇ 必ず、ご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ両側のポジションが同じである事を確認して下さい。
- ◇ 取り付けが終了し、何度か走行された後に、各部のネジを増し締めすることをお奨めします。
- ◇ その後も各部のメンテナンス、及び増し締めを定期的に行なって下さい。

<p>弊社製品に関するお問い合わせは、</p> <p style="text-align: center;">TEL. 072 (257) 7600 FAX. 072 (259) 6600</p> <p style="text-align: center;">(株) 日本ビート工業 まで</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ホームページ URL http://www.beet.co.jp/ ➤ 商品関連 e-mail アドレス sales@beet.co.jp ➤ 技術関連 e-mail アドレス support@beet.co.jp 	<p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;"><i>BEETWebsite</i></p> <p>Web サイトを開設しております。 左記 URL にて ご覧下さい。</p>
--	--	--

逆チェンジ仕様 (シフター無し)



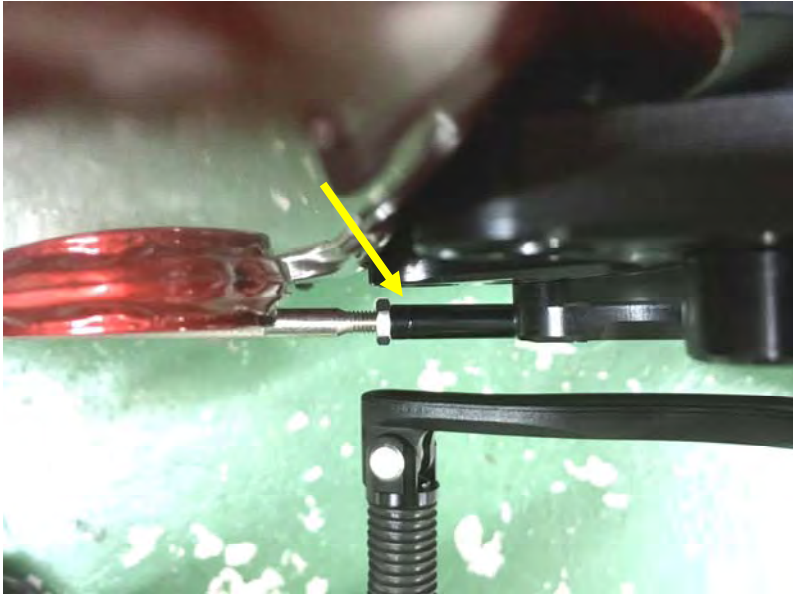
逆チェンジ仕様 (1UP/ 5DOWN)

※黄色○印のチェンジカムは製品仕様とは異なります。
製品仕様の場合、真ん中の穴位置で取り付けます。



左図の様に、純正のチェンジカムを上下逆に取り付ける事で、逆チェンジ仕様に変更が可能です。

ポジションプレートとチェンジロッドのクリアランスがある事を確認して下さい。



クリアランスが十分でない場合、左図の様にチェンジカムを外側に出して取り付ける。